

呉市立長迫小学校が「低炭素杯2014」最優秀地域エコ活動賞を受賞した報告会を5月8日(ゴーヤの日)に開催した。受賞したのは「長迫・緑のカーテンプロジェクト」で、全国1,620団体の中から選ばれた。くれ環境市民の会の支援のもと、この活動は6年前から実施しており、児童は自分たちの手で緑のカーテンを育て、その良さを体験し、節電や二酸化炭素削減の大切さを学ぶ。そして、この活動を通して、児童は持続可能な社会を作っていく一員としての自覚と態度を養った。

毎年、屋上まで届く立派な緑のカーテンは、インパクトがあり、地域にアピールするには十分なものである。また、苗を地域に配達したり、ポスターや緑のカーテン通信を作成して、緑のカーテンを長迫の町に広げる活動に取り組んでいる。

今回は、受賞の報告とともに、広島テレビ気象キャスターの大隅智子氏の講演があり、終了後には来場者を校庭に集め、ゴーヤの育て方の説明会が行われた。

TEAM

地域 エコ アクション ミーティング



最前線2

⑧ くれ環境市民の会

長迫小学校が受賞報告会を開催

ゴーヤの日に合わせて実施



受賞報告する児童(上)、気象キャスター大隅氏と竜巻実験をする児童(下)

受賞の報告では、児童約30人が壇上に並び、スライドを使用して長迫小学校の緑のカーテンプロジェクトの取り組みを紹介した歌を披露し、来場者を楽しませた。講演では「変なお天気が増えたのはなぜ?~地球の未来と私たちの暮らし~」と題して、広島県内の気温の変化に関する話題をはじめ、日本で起きている異常気象や地球温暖化の現状などが紹介された。また、竜巻実験や二酸化炭素測定器などの器材を用いた実験が行われ、児童は実際に体験し、楽しみながら学んだ。

来場者には、緑のカーテンを今年も作ろうと、ゴーヤの種とポットが配布され、長迫小学校では、地域ぐるみの温暖化防止に向けた活動を今後も継続していく。

くれ環境市民の会があらゆる主体と一緒に展開する地域ぐるみの脱温暖化の活動に期待したい。

(脱温暖化センターひろしま)

全県共通事業と専門研修がスタート

コミュニティ単位での実践・活用がポイント

活動メニュー強化や組織・人材育成へ

全県共通事業重点メニュー

環境協では、公衛協活動の支援策として、環境づくり・健康づくり活動メニューの提案や、推進委員の養成・育成のための各種研修会の企画・運営等を行っている。今回は「全県共通事業重点メニュー」と「専門研修」の概要を紹介する。

環境づくりメニューは、「1万人のエコチェック事業」「広島発・瀬戸内海美化大作戦」を展開する。

推進委員を対象に実施するもので、9月分の電気使用量の削減に取り組む。その結果を電気使用量明細書から把握記録する。併せて、削減効果

を計るために、前年同月の比較を行う。全推進委員の50%以上の実践率を目標としている。

「広島発・瀬戸内海美化大作戦」は、広島県の財産とも言える瀬戸内海をキーワードに、その恩恵を持続的に受けられるよう、環境保全活動に取り組む総合的な

事業である。地域清掃・美化や水質改善・水質保全、水の源でもある里地・里山の保全活動を展開し、その活動記録を広く公表して公衛協のPRにつなげていく。

今年度は、年度末に県内で実施された学習活動や清掃活動について調査し、内容や規模

(回数参加人数をとりまとめ、結果をホームページで公表する予定である。

健康づくりメニューは、「1万人の食チェック事業」「公衛協発ウォーキング事業」を展開する。

「1万人の食チェック事業」は、全公衛協推進委員を対象に、各自が食事で摂取した食品数をチェックする。6月19日から25日までの強化期間は毎日、以降は毎日

専門研修

「専門研修」は、公衆衛生推進委員の力量形成および専門的な知識・技術の習得の場として、公衛協が主催するもので、毎年テーマを変更して実施している。

今年度は「基礎研修の開き方コース」野外

学習会の開き方コース」は、公衛協推進委員の力量形成および専門的な知識・技術の習得の場として、公衛協が主催するもので、毎年テーマを変更して実施している。

今年度は「基礎研修の開き方コース」野外学習会の開き方コース」は、公衛協推進委員の力量形成および専門的な知識・技術の習得の場として、公衛協が主催するもので、毎年テーマを変更して実施している。

公衆衛生推進協議会

広島発・瀬戸内海美化大作戦
公衆衛生推進協議会



環境・健康募金環境協配分金の一部を充てて、公衛協PRグッズや事業教材を作成・配布



基礎研修の開き方コースで、伝えるポイントを確認する参加者(上)、野外学習会の開き方コースで、フィールドに潜む危険箇所を確認する参加者(下)

7名が参加し、各公衛協の役割、事業、募金などを伝える場で、2市2町公衛協から

図つてほしい。